

【教科名】工業英語(学修単位科目) Technical English		【学年・学科】4年・物質化学工学科	
【担当教員】物質化学工学科全教員、中村裕之		【単位数・期間】(必修)1単位・後期(週1時間)で合計15時間	
【TEL】		【e-mail】	
【授業目的と概要】 卒業研究を指導する教員の研究室に学生を配属し、各教員の指導の下に工業英語の輪講を小人数で行うことにより、物質化学工学に関する英語の語彙、文例を学修させる。また放課後に卒業研究や特別研究を行っている5年生や専攻科生と一緒に研究を体験させることにより、卒業研究への動機付けを行う。			
【授業の進め方及び履修上の注意】(準備する道具や前提となる知識) 小人数の輪講形式を取るため、授業の予習は必ず行うこと。英文を音読する場合は発音を正確に行い、英文和訳をする場合は、文章の意味・内容も理解すること。			
授 業 項 目	内 容		時間
【前期】			
期末試験			
【後期】			15
(畑中千秋)	"A BRIEF HISTORY OF SCIENCE", Thomas Crump, ROBINSON(London) の英文和訳、基本的文法の説明		
(山田憲二)	"Plasma Surface Modification and Plasma Polymerization", N. Inagaki, Technomic Publishing Co., Inc.(Basel)のReadingと英文和訳		
(松嶋茂憲)	「アクティブ科学英語」、多田旭男他、三共出版による英文和訳と英作文		
(川原浩治・井上祐一)	遺伝子の分子生物学に関する専門書の英文和訳		
(山根大和)	「化学英語の手引き」、大澤善次郎、裳華房による化学英文の書き方と発音練習及び英文和訳		
(竹原健司)	有機化学の英文テキストの英文和訳と文法説明 卒業研究関連の英語文献の輪読(英文和訳)		
(後藤宗治)	"LABORATORY MANUAL AND DATA BOOK", Department of Chemistry, The University of British Columbia の英文和訳		
(前田良輔)	「生物工学英語入門」、大倉一郎他、講談社		
(水野康平)	外国の大学で使用されている「化学」の教科書中で、卒業研究テーマと関連の深い章を訳し、解説する。(英文和訳)		
(中村裕之)	「国際会議参加要請Eメール」(英文)の和訳を行い、これに対する返信を英語で書く。(英文和訳、英作文) など		
期末試験			
【達成目標】 ・各教員が指定する「工業英語」教科書の内容を的確に理解し、そのために必要な英語能力をつけること。 ・ ・ ・		【教科書】 各指導教員の指定するテキストおよび論文 【参考書】 各教員に相談のこと。	
北九州高専目標	(B) , (D) , (E) , (F)		
JABEE 基準 1(1)	(a), (d), (f), (g)		
成績 評価	【評価基準】 英文の音読、翻訳、内容の説明などを課すことにより、英語能力を判断する。 【評価方法】 毎授業課題(英文和訳等)80%、試験20%		【オフィスアワー】 各指導教員が指定する時間帯

